

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
1	都市戦略部 都市戦略課	八王子市都市政策研究所	終了	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	新たな時代に対応する先駆的政策や施策を学識者・市民・職員が共同で調査研究し、①実効性ある政策の開発、②政策の発信を行う。研究テーマは「公共施設マネジメント」。	約1年	学識経験者としての専門的知識、豊富な経験・実績、指導力などにより、事業目的が達成される。	学識経験者に関する情報が不足しており、人選が困難である。	東京経済大学現代法学部 東海大学政治経済学部	
2	都市戦略部 都市戦略課	シティプロモーション	終了	その他	市の事業に大学等が協力	八王子の魅力を発見・発掘し、その魅力を今後どう活かせば、八王子が更なる魅力あるまちになるかを考える「大学生による八王子の魅力発見ワークショップ」を実施。	11月10日	八王子の魅力発信にあたって、市内大学等に在学する大学生の意見や考え方を聴くことで、シティプロモーション基本方針の策定に活用する。	なし	工学院大学、帝京大学、杏林大学、創価大学、創価女子短期大学、拓殖大学、中央大学、東京工科大学、上智大学、東京純心大学	
3	都市戦略部 都市戦略課	シティプロモーション	終了	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子の魅力や効果的な発信方法について意見交換を行う「八王子市シティプロモーション戦略に関する懇談会」へ、学識経験者として大学教員に参加を依頼。	10月1日 ～ 3月31日	観光学・デザイン学の学識経験者に、八王子の魅力発信について意見をうかがい、シティプロモーション基本方針の策定に活用する。	なし	杏林大学 拓殖大学	
4	都市戦略部 都市戦略課	シティプロモーション	終了	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	「シティプロモーション」についての職員向けの研修を実施し、学識経験者として大学教員に登壇を依頼。	10月15日	シティプロモーション推進に関する第一人者に講演を依頼することで、シティプロモーションについての職員の理解を深め、意識向上をはかった。	なし	東海大学	
5	都市戦略部 都市戦略課	法政大学団地再生ワークショップ	終了	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	多摩地域交流センターからの依頼により、大学周辺に点在する団地の地域コミュニティの再生に向けて、大学と自治体、住民協働の取組を検討するワークショップに、本市から関連所管職員8名が参加。	5月～7月 (全3回)	今後は学生が具体的な取り組みを行う際、必要に応じ関係所管との橋渡しを行い、より緊密な連携をはかる。	なし	法政大学(多摩地域交流センター)	
6	都市戦略部 自治推進課	中核市推進	終了	その他	市の事業に大学等が協力	ポスターや横断幕を作成し、移行を広く市民に周知することで中核市についての関心を高める。	約半年	ポスターを掲示することで、学生にも中核市についての関心を持っていただき、出前講座や地域説明会への参加につなげる。	なし	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等	
7	総合経営部 広聴課	八王子市市民参加推進審議会	継続	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	市民の市政への参加を推進するとともに市民参加条例の適切な運用を図るための議論を行う。	2年	学識経験者としての専門的知識、豊富な経験・実績、指導力などにより、事業目的が達成される。	なし	杏林大学 総合政策部 首都大学東京 都市教養学部 都市政策コース	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
8	総合経営部 広聴課	施設見学会	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	公募市民対象の市内施設の見学会。市民の市政への理解を深めるとともに身近な市民参加の機会とする。	2015.10/15～10/22	市民が大学等(教授・学生・施設)と接する貴重な機会となり、市民への大学等への理解が深まる。	なし	ヤマザキ学園大学 東京薬科大学 山野美容芸術短期大学	
9	総合経営部 広聴課 (※交通企画課と共催)	市民フォーラム・未来を語る	終了	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	市長を含むパネリストのパネルディスカッションを通じ、まちづくりや市政に対する関心を深めるとともに、行政との協働意識の高揚を図る。	2015.2/1	大学教授に基調講演及びコーディネーター、大学院助教にパネリストをお願いすることで、より専門的な見解を参加者へ伝えることができる。	なし	明星大学 理工学部総合学科(環境・生態学系) 首都大学東京 大学院 都市環境科学研究科 建築学域	
10	市史編さん室	市史編さん室職員の大学図書館利用	継続	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	市史編さん室職員による法政大学多摩図書館の利用。	平成21～28年度(予定)	豊富な所蔵資料の閲覧・貸出が許可されたことにより、市史編さんに必要であるが、貴重かつ高価で入手困難な専門図書を利用することが可能になった。	なし	法政大学	多摩図書館
11	市史編さん室	八王子市市史編さん審議会	継続	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	市史編さん事業の適正な推進を図るため、市史編さんの基本構想の策定に関する事項、編集方針に関する事項、その他市史編さん事業の推進に関する事項について調査審議し答申する。	平成20～28年度(予定)	学識経験者としての専門的知識や豊富な経験を、市史編さん事業の推進に生かすことができる。	なし	中央大学 成蹊大学 東海大学	
12	市史編さん室	八王子市市史編集委員会	継続	芸術・文化	検討会委員、講師派遣等に協力	市史の編さんについて専門的知識を有する大学教員などの学識経験者等により組織し、市史の内容や構成など、市史編集に関わる専門的事項について協議する。	平成21～28年度(予定)	委員の持つ専門的な知識や経験を生かし、市史の編集を進めることができる。	なし	中央大学 専修大学 成蹊大学 東海大学 国学院大学	
13	市史編さん室	八王子市市史編集専門部会	継続	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	市史編集専門部会へ、大学教員ならびに大学院生等が参加し、各専門分野ごとに具体的な調査研究を実施。	平成21～28年度(予定)	市史編さんの各分野について専門的知識を有する者を委員に迎えることにより、高度かつ効率的な調査研究を行うことができる。	なし	中央大学 創価大学 首都大学東京 ほか	
14	行財政改革部 行革推進課	八王子市行財政改革推進審議会	継続	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	行財政改革の基本方針及び行財政改革の推進に関する重要事項についての調査審議を行う。	任期2年	専門分野における高度な知識に基づいた意見を行財政改革に活かすことができる	なし	平成27年度は開催していないため、連携実績なし	
15	行財政改革部 行政管理課	八王子市外部評価懇談会	終了	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	行政評価の客観性をより一層高め、市民の視点及び学識経験者の専門的な視点での評価を取り入れた外部評価を実施	1年	専門分野における高度な知識に基づいた意見を行政評価に活かすことができる	なし	平成26年度は開催していないため、連携実績なし	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
16	市民活動推進部 協働推進課	市民企画事業補助金	継続	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	市民活動団体が企画・実施する公益的な事業に対し、事業費の一部を補助する制度。庁内での確認・評価の上、外部委員による評価を行い、補助対象事業を決定する。	1年任期	学識経験者が加わることで、提案事業に対して客観的で深い見識からの評価が行える。 また、本制度のあり方等について広い視野からの提言が期待できる。	なし	首都大学東京(～平成26年6月30日) 拓殖大学(平成26年12月1日～平成27年3月31日)	都市教養学部都市政策コース教授 国際学部教授
17	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	八王子まつり案内及びグッズ販売 主催:八王子まつり実行委員会	継続	まちづくり	その他	八王子まつり開催にあたり駅等に設置の案内所におけるパンフレット等配布による観客への案内及び販売ブースでのグッズ販売員としての人的協力 警備・清掃	八王子まつり開催の3日間	1. 財団として産学公の連携が図られる 2. まつりを通じて地域住民との交流が図れる 3. まつりへの参加によるふるさと意識の啓発 4. 若年層の観客動員への期待	夏休み中の人員確保。 学校行事と重なると協力が見込めない。	東京工科大学 日本工学院八王子専門学校	
18	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	地域ふれあい講座	終了	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	各地域住民協議会が、地域住民の要望に即した各種公開講座を実施する。	—	地域住民が要望する内容について、専門的な講座とすることが期待できる。			
19	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	フラワーフェスティバル由木	継続	まちづくり	その他	フラワーフェスティバル由木開催にあたり案内所及びプレイランドでの手伝いとしての人的協力	まつり開催の2日間	1. 財団として産学公の連携が図られる 2. まつりを通じて地域住民との交流が図れる 3. まつりへの参加によるふるさと意識の啓発 4. 若年層の観客動員への期待	新年度早々行事のため人員確保。 学校行事と重なると協力が見込めない。	東京工科大学	
20	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	八王子いちよう祭り 主催:いちよう祭り祭典委員会	継続	まちづくり	その他	八王子いちよう祭り開催にあたり案内所でパンフレット等配布による観客への案内及びグッズ販売員あるいはイベント警備や会場清掃としての人的協力	まつり開催から開催後までの3日間	1. 財団として産学公の連携が図られる 2. まつりを通じて地域住民との交流が図られる 3. まつりへの参加によるふるさと意識の啓発 4. 若年層の観客動員への期待	人員確保。 学校行事(学園祭)と重なると協力が見込めない。	東京工科大学 日本工学院八王子専門学校 法政大学 中央大学	
21	市民活動推進部 学園都市文化課	学生と市長とのふれあいトーク	継続	まちづくり	市の事業に大学等が協力	まちづくりに関する幅広い分野で研究・活動を行っている学生達に日頃の活動の成果やまちづくりに対する提案を公表してもらい、市長と意見交換を行う。	平成18年～	本市のまちづくりについて市長との意見交換を交えた中で学生から貴重な意見、提案がなされ今後のまちづくりの参考とすることができた。 また、来場者(学生・市民)に学生の活動やアイデアなどを知ってもらう良い機会となった。	多くの大学からの提案がもらえない。	中央大学、工学院大学、杏林大学、創価大学、東京工科大学	中央大学 FLP環境プログラム佐々木創ゼミ、工学院大学 技術経営研究室、杏林大学 田中ゼミナール、創価大学 佐久間ゼミナール、東京工科大学 柿本研究室、創価大学 天谷永ゼミナール、杏林大学 久野新ゼミナール

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
22	市民活動推進部 学園都市文化課	八王子学園都市大学評議会	継続	生涯学習	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子学園都市大学の重要事項を審議する評議会委員への就任を参加大学へ依頼。	任期2年	八王子学園都市大学の運営方針などについて実際に講座を提供している大学側の意見を反映させることにより、より充実した内容にすることができる。	なし	創価大学 東京工科大学 ヤマザキ学園大学	
23	市民活動推進部 学園都市文化課	大学と連携した情報収集のしくみづくり	継続	まちづくり	市の事業に大学等が協力	大学の研究室が独自に収集・作成している八王子に関するデータを共同で有効活用できるしくみの構築。	長期継続	大学の収集・研究したデータを活用し、市の特性を把握することで、事業や計画実施に役立てる。	なし	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等	
24	市民活動推進部 学園都市文化課	八王子市文化振興推進委員会	継続	芸術・文化	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市文化振興計画の進捗状況を確認し、評価や見直しにより計画を着実に推進していくため、必要な提言などを行う。	任期2年	専門分野について、より充実した内容にすることができる。	なし	杏林大学	
25	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 芸術文化振興課	伝統文化ふれあい事業	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	街なかで市民が伝統文化にふれる機会を創出し地域資源の新たな発見と積極的な活用をはかるもの	平成18年度から継続	学生の感性を取り入れた事業が行える。 学生にも伝統文化にふれる機会を提供できる。 市民と学生との交流ができる。	時期により学生の協力を得られない	杏林大学	古本ゼミ
26	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 経営管理課	評議員会 諮問委員会	継続	その他	その他	財団の理事・評議員に大学関係者を選任している。	常時	学生の事業への参加・関心の促進 直接、財団事業について意見交換ができる。	特に無し	工学院大学 東京工科大学	
27	市民活動推進部 学園都市文化課 八王子市推進会議	八王子大学コンソーシアム 八王子加盟23大学等 留学生日本語弁論大会	終了	教育	その他	大学コンソーシアム八王子加盟23大学等の留学生が事前に出題されたテーマに対し、日本語で自分の考えを発表する。	毎年11~12月頃	発表者は市より国際交流推進特使(国際フレンド)に任命され、母国と市の交流推進に寄与してもらう。 留学生の考えを知る事ができる。 日本語能力の向上の場の提供。		大学コンソーシアム八王子加盟23大学等	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
28	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	学生天国	継続	まちづくり	その他	八王子学生委員会及び大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生有志による「八王子地域合同学園祭」。	平成17年～ 毎年5月第2日曜日	市が協力することにより市民への周知など対外的なPRの面で効果がある。	行政の役割の確認。	八王子学生委員会 大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等の学生有志	
29	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	学生発表会	継続	産業振興	その他	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学等の学生に、研究成果を発表する場を提供し、大学間の交流を図るとともに、企業・大学関係者及び市民から講評等を受ける機会を提供することにより、産学連携及び地域活性化に資することを目的とした「学生発表会」を開催。また、学生のアイデアを市長に直接提案する「学生と市長とのふれあいトーク」と融合し実施。	平成15年4月～ 毎年12月の土日	他大学の学生との交流や学生、教員、企業関係者等から評価を得られる。学生の研究成果・アイデアを企業や市政に提言することによる地域の活性化。	企業の参加が伸び悩んでいる。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
30	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	学生企画支援補助事業	継続	教育	その他	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生や学生と市民の交流を目的としたイベント企画を支援補助する事業	平成17年～ 通年	学生の企画運営の相談を行い、学生相互及び学生と市民の交流ができる。		大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
31	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	公開講座の共催	継続	施設利用	その他	学園都市センターを会場に開催される各大学の公開講座のポスター・チラシによるPR等の実施	H14年4月～ 通年	大学等との協力による講座の提供により、市民に対し生涯教育の一助となる機会を提供することができた。		大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
32	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	八王子市学園都市推進会議	継続	まちづくり	その他	シティインデックスの発行とホームページの更新 学生フェスティバルの開催 いちよう祭りへの参加 留学生日本語弁論大会の実施 大学生と市民・少年野球チームの小学生との交流会の実施	H14年4月～ 通年	新入生のための生活便利帳「シティインデックス八王子」を大学コンソーシアム八王子加盟25大学等へ配布 音楽祭・書道展・写真展・美術展など学生フェスティバルへ多数の大学から参加 留学生日本語弁論大会を共催		大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
33	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	八王子学生委員会	継続	まちづくり	その他	学生天国の実施やいちよう祭りへの参加など学校間の壁を越え、学生がいきいきと地域で活動できる街をめざす	H14年4月～ 通年	各大学へ学生委員会の委員や学生天国等イベントへの参加・協力者を募った。		大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
34	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 学園都市振興課	八王子学園 都市大学	継続	生涯学習	市の事業に大 学等が協力	周辺部を含めた大学コンソーシアム 八王子加盟25大学等と連携し、高度 で専門的な学習機会を継続的に提供 することにより、市民の生きがいつくり や地域の活性化に寄与するもの。	平成16年 9月～ 通年	高度な教育を通じて人材育成が図 られ、地域の活性化につながる。ま た、市民が大学をより身近に感じら れる「学園都市づくり」が促進され る。		大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
35	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 学園都市振興課	八王子地域2 5大学情報 コーナー	継続	その他	その他	大学コンソーシアム八王子に加盟す る大学コンソーシアム八王子加盟25 大学等の学校案内、入学案内などを 市民に提供。	平成20年 ～ 通年	地域にある大学を市民に広く周知 することができる。		大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
36	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 学園都市振興課	学生交流サロ ン貸出事業	継続	その他	その他	大学の学生や教員、また学園都市大 学の受講生が無料で打合せ等に利用 できるスペースを開放した。	平成18年 ～ 通年	学生が打合せ等ができる空間を確 保し、学生が集まり易い環境とし た。	一般の利用者との違 いがわかりにくい	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
37	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八 王子	大学コンソー シアム八王子 情報	継続	まちづくり	その他	大学コンソーシアム八王子に加盟す る大学コンソーシアム八王子加盟25 大学等の魅力を広くPRし、大学・学 生・市民等との連携、交流の促進を目 的に作成。	平成21年 ～ 通年	大学コンソーシアム八王子の設立 及び大学コンソーシアム八王子加 盟25大学等の魅力や存在をあらた めて周知することで、「学園都市八 王子」のイメージアップが図られ た。また、各大学学園祭や大学で 活躍する方々を紹介することで大 学・学生と市民等との交流の促進 に貢献した。		大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
38	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八 王子	夏休み子ども いちょう塾	継続	教育	その他	幅広い分野の学部が所在する特色を 活かして、八王子地域の小学生4～6 年生を対象に、夏休みの特別講座を 開講する。文系理系を問わず幅広い 科目を提供する。	毎年 7月の最 終日曜日	地域の小学生とその保護者が、大 学の教員という別の視点で授業を 受けることで、大学に興味を持って もらうと同時に、様々な科目に興味 を持ってもらう。	予算の確保	工学院大学 明星大学 東京工 業高等専門学校 東京純心大 学 多摩美術大学 創価大学 東京薬科大学 拓殖大学 日本 文化大学 東京工科大学 サレ ジオ工業高等専門学校	
39	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八 王子	FD・SDフォー ラム	継続	教育	その他	社会で活躍できる学生を育てるとい う目的の下にさまざまな視点から基調 講演や分科会を企画し、25大学等お よび全国からの教職員が互いに学び 情報共有する場を提供する。	8月の最 終金・土	連携大学等の教職員が共通して直 面する問題、課題などについて情 報交換ができるとともに、全国から 参加する教育機関関係者との交流 を通して教職員の意識改革や資質 向上に繋がる取組みとなる。		工学院大学 明星大学 東京工 業高等専門学校 杏林大学 創価大学 東京薬科大学 東 京工科大学 首都大学東京 東 京家政学院大学 桜美林大学	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
40	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 夢美術館	学芸員実習 の受入	継続	教育	その他	学芸員資格を取得するために必要となる博物館実習を夢美術館で希望する学生を受け入れる。	5日間(10月)	①学生に実習の場を提供でき、また大学との協力体制が取り易くなる。 ②将来他の美術館との連携の可能性が広がる。	受入人員に限られるため、市内在学、在住を優先	東京造形大学、実践女子大学、東京学芸大学、共立女子大学、明星大学、金沢美術工芸大学	
41	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 夢美術館	博物館見学 実習	継続	教育	その他	大学が開講する博物館見学実習の場を提供し職員が対応した。	1日	学生の美術館への理解を深めることができる。出席者は、大学の正規の単位となる。	なし	首都大学東京	システムデザイン 学科
42	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 芸術文化会館	インターンシ ップ	継続	芸術・文化	市が大学等に ボランティアを 依頼	学生に実務の体験と学習の場を提供し、その経験を文化活動に活かし、舞台技術を通じて、「活動する人」として、文化の担い手(文化人)となる環境づくりに資する。	1年	その経験を文化活動に活かし、学園都市振興や文化人の育成に資する。 更に、学校の特性を活かすため、舞台業務の専門性の理解等レベルアップが図れる。	会館側の体制と、学生側の日程等との調整が必要となる。	日本工学院八王子専門学校 コンサート・イベント科	
43	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 芸術文化振興課	八王子シア タープロジェクト 公演	終了	芸術・文化	その他	ふれあい財団が企画した演劇ワークショップを母体として2008年に旗揚げした市民劇団による公演。財団が継続してサポートを行い、今回が第3回目の公演である。	1年	演劇ワークショップの時期に指導を担っていただいた教員から専門的なサポート・アドバイスを受けることにより、明確なレベルアップがみられている。	なし	多摩美術大学	造形表現学部 映像演劇学科
44	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 夢美術館	東京造形大 学フラッグキャ リアプロジェクト	継続	芸術・文化	その他	東京造形大学グラフィックデザイン専攻領域の授業の一環としてとり組まれた学生のデザインによるフラッグを作成し、西放射線商店街の協力を得て西放射線ユーロードのポールに掲出、広く市民に公開する。	7月～11月	多くの学生が参加し、街の賑わいを創出できた。また、継続をすることで商店街とのコミュニケーションが図れている。	なし	東京造形大学	
45	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 芸術文化振興課	八王子音楽 祭	終了	芸術・文化	市の事業に大 学等が協力	音楽祭のPR用チラシやパンフレットのデザイン、会場装飾のデザインを学生が行う。	約半年	PRに学生らしい若く新鮮な感覚を取り入れられる。 デザインコースの学生が実践を通して学び、スキルアップを図ることができる。 業者委託の場合は、20万円程度のデザイン費用がかかるが、大学生に依頼し大学のカリキュラムのなかで取り組み無料で実施。	なし	日本工学院八王子専門学校	デザインカレッジ (山口・飛塚ゼミ)
46	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 南大沢文化会館	ロビーコン サート運営ボ ランティア	継続	教育	市が大学等に ボランティアを 依頼	ロビーコンサートの準備・片付け・チラシ配り・音響準備(機材の設営)やお客様の誘導などについて学生を活用する。	H26.4月～ 3月	今年度は要望がなかったので、未実施	なし		

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
47	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 南大沢文化会館	会館内の分り 易い経路誘導 の改善	継続	その他	市の事業に大 学等が協力	会館内の分かり易い経路誘導を改善 するため、大学の専門家に依頼する。	2年	27年度は、管内の誘導のデザイン について協議をすすめ利用者の スムーズな移動を目指す。	なし	首都大学東京	産学公連携セン ター
48	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 南大沢文化会館	南大沢文化 会館ダンス ワークショップ	継続	教育	市が大学等に ボランティアを 依頼	26年度に実施する学生の指導によ り、小中学生が正しいダンスの技術 や、体の動かし方を習得するワー クショップのプログラムを共同で作成 した。	平成26年 ～通年	学生が指導することにより、大学が 地域にとってより身近なものとして 認識されるとともに、南大沢地域の ダンス層の拡充を図り、将来の文 化人を育成する。	なし	東京工科大学	
49	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 芸術文化振興課	南大沢コミュ ニティオペラ	継続	芸術・文化	市の事業に大 学等が協力	プロ・セミプロ・アマ・学生・ふれあい財 団が力を合わせて創造する手作りの オペラ。「創る」「演じる」「観る」喜びを 多くの方と分かち合い、地域に根付い た活動となることを目指す。	1年	本格的な市民オペラを創り上げる ために、単なる制作経費の削減で はなく、地域と一体化した手作りの 活動になること、また、学生の学習 成果を発揮する場としても活用さ れている。	なし	東京家政学院大学 山野美容芸術短期大学 東京工科大学	生活デザイン学科 専攻科芸術専攻 メディア学部 ntebro
50	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 夢美術館	多摩美術大 学サウンド アート展	終了	芸術・文化	その他	いちようホール展示室等で在学生、卒 業生の作品展示、パフォーマンスを開 催。記録誌を発行。	12月7日～ 1月31日	1. 市内大学の学生に発表の機会 を与え、文化人を育てる。 2. 卒業し、八王子から離れた人材 を八王子に呼び寄せる。 3. 市内大学と市民の交流を図れ る。	作品の保護と事故の 防止	多摩美術大学	情報デザイン学科 メディア芸術コー ス
51	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 夢美術館	「銅板画家清 原啓子の宇 宙」展ギャ ラリートーク	終了	芸術・文化	市の事業に大 学等が協力	夢美術館が収蔵する銅版画について の調査及び展覧会会場での講義及び 銅版画製作実演。	12月6日	1. 大学教員の研究成果及び大学 設備を活用することができる。	なし	多摩美術大学	版画研究室
52	市民活動推進部 多文化共生推進課	国際交流フェ スティバル	継続	多文化共 生	市の事業に大 学等が協力	毎年秋に開催する国際交流フェスティ バルの周知用ポスターの原案を大学 の授業で作成してもらい、数点をフェ スティバル開催時に会場に展示する。	5月～6月 展示は10 月または 11月	学生の感性を取り入れることで、国 際交流フェスティバルへの若い世 代への参加の促進につながる。		サレジオ高専	佐久間講師
53	市民活動推進部 多文化共生推進課	高雄ランタ ンフェスティ バルへのパ フォーマンス 団派遣	継続	多文化共 生	市の事業に大 学等が協力	本市の海外友好交流都市である台 湾・高雄市で開催される「高雄ラン タンフェスティバル」に大学コンソー シウム八王子加盟25大学等を代表し、首都 大学東京応援団チアリーディングチ ームが出演した。。	2月～3月	1. 台湾・高雄市の多くの市民の方 に、日本の文化を知っていただくこ とができる。 2. 高雄市との友好関係が深まると 共に、市民交流の促進につな がる。	特になし	首都大学東京	応援団チアリー ディングチ ーム

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
54	市民活動推進部 多文化共生推進課	地域のイベントへの参加	継続	多文化共生	その他	地元町会・自治会等で開催される防災訓練に、八王子国際協会と連携し外国人留学生が参加。また、高尾山観光案内所や八王子まつり、みんなの川の清掃デーなどの行事にボランティアとして参加。	1年	1. 留学生が日本の文化を体験する機会につながる。 2. 地元町会・自治会の方々が、留学生と交流を通じて、異文化を理解する機会が得られる。	特になし	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等	留学生
55	市民活動推進部 多文化共生推進課	多文化共生推進評議会	継続	多文化共生	検討会委員、講師派遣等に協力	2013年3月に策定された「多文化共生推進プラン」の進捗状況や本市の多文化共生推進施策に意見等をいただくに当たり、本プランの策定に、ご尽力をいただいていた中央大学の森茂教授に、本委員会の座長を務めていただいている。	3年	多文化共生に関する専門的な知識を持っており、また、本プラン策定に至るまでの経緯も把握されているため、的確に委員会を取りまとめていただいている。	特になし	中央大学	文学部 森茂教授
56	市民活動推進部 多文化共生推進課	多文化共生フォーラム	終了	多文化共生	検討会委員、講師派遣等に協力	市民に対し、多文化共生意識の啓発を図るためのフォーラムを開催。基調講演を帝京大学教授に依頼。パネルディスカッションのパネリスト及び企画・運営委員に留学生が参画。ポスターはサレジオ高専にデザインを依頼。	1年	1. テーマに精通した研究者の話が聞けた 2. 留学生の地域貢献 3. 若い感性を取り入れたポスターができ、集客につながった	特になし	1. 帝京大学経済学部 2. 大学コンソーシアム王子加盟25大学等 3. サレジオ高専	河野教授 留学生
57	市民活動推進部 多文化共生推進課	国際理解講演会	終了	多文化共生	検討会委員、講師派遣等に協力	市民に対し、多文化共生意識の啓発を図るための市民のための国際理解講座「カルタ・紙芝居で学ぶ移民の歴史と多文化共生」を開催。	1年	テーマに精通した研究者の話が聞けた	特になし	帝京大学教育学部	中山教授
58	市民活動推進部 多文化共生推進課	教員のための国際理解教育ワークショップ	継続	多文化共生	検討会委員、講師派遣等に協力	市内の小中学校の教員を対象とした研修を開催。	4月～8月	テーマに精通した研究者の話が聞けた	特になし	帝京大学教育学部	中山教授
59	市民活動推進部 多文化共生推進課	泰山国際マラソン	継続	多文化共生	市の事業に大学等が協力	本市の海外友好交流都市である中国・泰安市で開催される「泰安国際マラソン」に大学コンソーシアム八王子加盟25大学等を代表し、中央大学陸上同好会に出場いただくもの。	9月～10月	中国・泰安市との友好関係が深まると共に、市民交流の促進につながる。	特になし	中央大学	陸上同好会
60	市民活動推進部 多文化共生推進課	出前講座	継続	多文化共生	大学等の研究事業に市が協力	創価大学より講師の派遣依頼があり、大学の講義の一環として出前講座「多文化共生社会の実現をめざして」を行い、市が取り組んでいる多文化共生推進事業及び海外友好交流都市との交流事業などの説明をした。	10月～11月	次世代を担う若者たちに、市が取り組んでいる多文化共生推進事業及び海外友好交流都市との交流事業への理解が広がったほか、多文化共生意識の啓発につながった。	特になし	創価大学	中山講師
61	市民活動推進部 男女共同参画課	男女共同参画センター運営	継続	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	男女共同参画施策推進委員会委員	2年	男女共同参画施策の推進及び男女共同参画センター運営について学識者の意見として参考とする。	特になし	首都大学東京	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
62	市民活動推進部 男女共同参画課	男女共同参画センター運営	継続	その他	大学等の研究事業に市が協力	大学からの協力依頼により市職員等が大学へ出向き、デートDV等について講義を行う。	必要に応じて	これからの社会を担う学生たちに対し、男女共同参画の理解やDV・デートDVなどの認識を深めてもらい、女性に対する暴力を許さない地域社会の実現を図る。	特になし	中央大学	
63	市民活動推進部 男女共同参画課	男女共同参画センター運営	継続	その他	その他	大学コンソーシアム八王子を通じて、市内の大学に、パンフレット「デートDVってどんなことだろう」の配架を依頼。	必要に応じて	学生に「デートDV」について理解してもらい、公の相談窓口について情報提供をすることができた。	特になし	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等	
64	市民活動推進部 男女共同参画課	男女共同参画センター運営	終了	その他	市が大学等にボランティアを依頼	男女共同参画センター主催「女と男のいきいきフォーラム八王子」の運営に係る学生ボランティア	必要に応じて	学生の社会参加及び男女共同参画の事業に触れることによる、意識啓発を図る。	特になし	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等	
65	市民活動推進部 男女共同参画課	附属機関等への女性参画の推進	継続	その他	市の事業に大学等が協力	附属機関等における女性委員の参画率向上を図るため、大学等へ女性教員の紹介を依頼。	必要に応じて	政策・方針決定過程への女性の参画を積極的に推進することにより、男女共同参画の視点に立った行政運営や大学等の地域貢献を推進することができる。	女性教員が委員を兼任することが多く、本人への負担が大きくなるのではないかな。	創価大学	
66	総務部 総務課	平和展(平和推進事業)	継続	その他	市の事業に大学等が協力	①平和展実行委員会の参画・運営(平和展の企画や事前準備及び撤去、開催期間中の会場運営等) ②市でお願いしている八王子空襲に関する映像の作成	①平成24年度～ ②平成26年度～	①平和展の企画・運営に学生独自のアイデアを多く採用でき、心のこもった運営により来場者にも好評を得ている。 ②平和展及び平和推進活動全体において、貴重な資料として活用している。	なし	①帝京大学 ②中央大学	①児童文化研究会～step～ ②松野ゼミナール
67	総務部 総務課	情報公開・個人情報保護審査会	継続	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	公文書の公開請求及び個人情報の開示請求に係る実施機関の決定に対する不服申立てについて、実施機関からの諮問に応じ、第三者の立場で審議調査する。	任期2年	行政、法律等において高い見識を有しているため、審議において大変有用である。	学識経験者に関する情報が不足しており、委員の選任が困難である。	創価大学 法政大学 首都大学東京	
68	総務部 総務課	情報公開・個人情報保護運営審議会	継続	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	情報公開・個人情報保護制度の運営に関する重要事項等について、市長の諮問に応じ、第三者の立場で審議調査する。	任期2年	行政、法律等において高い見識を有しているため、審議において大変有用である。	学識経験者に関する情報が不足しており、委員の選任が困難である。	東京大学 中央大学	
69	総務部 総務課	政治倫理審査会	継続	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	政治倫理に関する事項についての調査請求に対して、市長からの付託に応じ、第三者の立場で審議調査する。	任期2年	行政、法律等において高い見識を有しているため、審議において大変有用である。	学識経験者に関する情報が不足しており、委員の選任が困難である。	中央大学	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
70	総務部職員課	インターンシップ	継続	その他	その他	大学のカリキュラムの一環であるインターンシップの受入れ。	各大学との協定により決定	学生に公務員の仕事や本市の施策等を理解してもらう機会になるとともに、市側が学生の意見・提案に直接触れる機会となっている。	事業を実施する上で、今の20名程度の受入れが上限である。今後も大学からの受入要望が増加するようだと実施方法の検討が必要	中央大学、法政大学、創価大学、首都大学東京、帝京大学、杏林大学、明星大学、拓殖大学、日本文化大学、工学院大学	
71	財務部契約課	八王子市総合評価方式検討会	継続	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	本市における総合評価方式による入札契約制度の見直しに向けて、総合評価方式の評価項目、運用方法等について意見聴取等を行う。	2年	学識経験者としての専門的意見を聴けることと、恣意性の排除、中立性及び公正性が確保できる。	特に無し	首都大学東京 都市教養学部 都市政策コース 創価大学 法学部 拓殖大学 工学部 デザイン学科	朝日ちさと准教授 土井美徳准教授 永見豊准教授
72	税務部住民税課	軽自動車税の賦課(課税客体の適正な把握)	継続	その他	市の事業に大学等が協力	原動機付自転車の廃車手続きPRポスター掲示の依頼並びに大学のホームページへの原動機付自転車の廃車PR文掲載及び市ホームページの原動機付自転車に関する手続きのページへのリンク設定の依頼	12月上旬	大学生が所有する原動機付自転車について、廃棄、譲渡、市外転出、盗難・紛失したときの廃車手続きの徹底。	なし	八王子市及び隣接する地域の大学、短大、高専	
73	生活安全部防犯課	八王子市生活安全対策協議会	継続	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市生活の安全・安心に関する条例に基づき、防犯対策などを検討する	H15年3月～現在(任期は2年)	学生・地域住民・警察・市が様々な立場からの意見交換を行うことで、より安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与することができる。	なし	日本文化大学	
74	生活安全部防犯課	バイク盗難防止キャンペーン	終了	その他	市の事業に大学等が協力	バイク盗の被害が大学生に多いことから、大学生に対して鍵かけを行うよう啓発を行うことで、バイク盗の発生件数の減少を図る。 【参考：H25市内バイク盗認知件数】平成25年1月～12月：465件 都内1位	3日間	市内におけるバイク盗認知件数の減少 【参考：H26市内バイク盗認知件数】平成26年1月～12月：245件 都内2位	なし	創価大学 拓殖大学 東京工科大学	
75	生活安全部防災課	災害時における広域避難場所及び一時避難場所	継続	防災	市の事業に大学等が協力	災害時に市民の生命を守るため、広域避難場所及び一時避難場所として指定し、施設を使用する	避難場所としての必要がなくなるまで	地震火災やその他の大規模火災発生時の、火災による輻射熱から避難者の生命を保護するための、オープンスペース、一時避難場所として市民の安全確保ができる	なし	首都大学東京、中央大学、東京薬科大学、東京工科大学、工学院大学、創価大学、拓殖大学、明星大学	
76	生活安全部防災課	災害時ボランティア活動に関する相互協力	継続	防災	市が大学等にボランティアを依頼	大学、消防署、市が連携し、災害時に大学生のボランティアを活用して災害対策活動を行うもの。大学は、学生に向けてボランティアニーズの広報等を行う。	H18年度～	市内の大学に在学する学生の力を災害時に活用することにより、災害時ボランティア要員の確保が図れる。	なし	創価大学、杏林大学、拓殖大学 帝京大学	
77	生活安全部防災課	八王子市総合防災訓練	継続	防災	市の事業に大学等が協力	災害に備えて消防署・警察署・消防団・自衛隊などの関係機関と合同で行う総合防災訓練。	1日	医師会等の関係機関と連携した実践的な訓練を行うことで、災害時における看護活動等をより円滑に行うことができる。	なし	看護専門学校	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
78	市民部 消費生活センター	大学教職員向け消費者教育研修会	継続	その他	市の事業に大学等が協力	学生の消費者力向上を目指し、市と大学が連携し、市内大学等の教職員を対象に消費者教育に関する研修の実施	6月15日 6月29日	学生に対する消費生活及び消費者問題に関する情報や知識の提供機会の拡大	なし	大学コンソーシアム八王子加盟校	
79	福祉部 福祉政策課	八王子市地域福祉推進協議会	終了	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	平成25～29年度を計画期間とする『第2期地域福祉計画』の円滑かつ効果的な実施を推進するため、特に重点課題について進行管理を行うとともに、本市における保健医療、福祉の総合的な発展のため、協議、意見交換を行う。	任期 平成25年8月1日～平成27年3月31日まで	大学教授など学識経験者が委員に加わることで、学問的に裏付けられた知識を取り入れることができ、会議の円滑な進行ができる。	なし	法政大学 首都大学東京	
80	福祉部 高齢者いきいき課(	八王子市高齢者在宅サービスセンター指定管理者候補者選定のための評価会議	終了	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市高齢者在宅サービスセンターの管理運営を行う指定管理者の選定を、公正かつ適正に実施するため、八王子市高齢者在宅サービスセンター指定管理者候補者選定のための評価会議を開催する。	任期 平成26年7月18日～平成26年12月28日	大学教授など学識経験者が委員に加わることで、学問的に裏付けられた知識を取り入れることができ、会議の円滑な進行に貢献している。	なし	首都大学東京	
81	福祉部 高齢者いきいき課	高齢者活動コーディネートセンター運営	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	経験や特技等を持つ高齢者とそれを必要とする団体を結びつけるコーディネートを行い、高齢者の社会参加及び生きがいづくりを推進する。また、社会参加のきっかけとなる講座やコーディネーター養成の講座を実施する。	平成26年9月18日～11月6日 平成27年2月5日～3月12日	専門的分野における講演をいただくことで受講生の意識の向上につながっている。	なし	桜美林大学 拓殖大学	
82	福祉部 高齢者いきいき課	八王子市高齢者計画・第6期介護保険事業計画策定委員会	終了	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	高齢者計画・第6期介護保険事業計画策定にあたり、意見聴取及び意見交換を行う。	任期 平成26年4月1日～平成27年3月31日	大学教授など学識経験者が委員に加わることで、学問的に裏付けられた知識を取り入れることができ、会議の円滑な進行に貢献している。	なし	淑徳大学 桜美林大学	
83	福祉部 高齢者福祉課	八王子市介護サービス相談調整委員	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市介護サービス相談支援会議を構成し、サービス利用者からの不満等について調査及び審議をし、各種サービスを提供する事業者に対して指導、助言、勧告等を行う。	任期 平成25年11月1日～平成27年10月31日	事業を実施する上で、専門的分野の知識が不可欠であり、支援会議の円滑な運営に必要。	なし	法政大学	
84	福祉部 高齢者福祉課	家族介護者交流会	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	左記の教室でスタッフとして参加	1日	福祉系学部の学生が参加することで、地域課題の発見につながる。	なし	創価大学	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
85	福祉部 介護保険課	八王子市介護保険運営協議会委員	終了	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	介護保険事業の円滑な運営を図る。	任期 平成26年9月6日～平成27年3月31日	大学教授など学識経験者が委員に加わることで、学問的に裏付けられた知識を取り入れることができ、会議の円滑な進行に貢献している。	なし	首都大学東京	
86	福祉部 障害者福祉課	「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」周知イベント	終了	医療・福祉・健康	市の事業に大学等が協力	市が制定している「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」を広く周知するため、障害者への理解と差別禁止をテーマとするシンポジウムを毎年開催している。平成26年度はその3回目となる。	平成26年 10月11日	1. 障害のある学生への配慮や支援について、支援を行う側と受ける側の両方の視点から紹介することができる。 2. 学生をパネリストとして起用することで、若い層にも条例周知を図ることができる。	なし	法政大学 中央大学	障がい学生支援室 ボランティアサークル「ほのぼの」
87	医療保険部 地域医療政策課	戸吹湯ったり館新春初笑い寄席	終了	医療・福祉・健康	その他	指定管理者が大学にボランティアを依頼し、落語で楽しいひと時と終わった後はお風呂で心も体も暖まっていたいく事業。	8月16日 (土)	・学生たちに発表の場を提供でき、異世代間の交流が図れた。 ・戸吹湯ったり館の集客に役立ち、利用者は、笑により健康増進となった。	なし	拓殖大学	落語研究会
88	医療保険部 地域医療政策課	出張講座	継続	医療・福祉・健康	その他	市が抱える課題(保健・医療)と対策、施策等及び、課題対応への大学との連携等について講義を実施	4月13日	市から講師を派遣することにより、大学との連携・協力が得やすくなる環境づくりができた。 ※地域医療政策課長が講義を行うことで、学生が、地域社会に貢献する保健学等を理解することの助けになった。	なし	杏林大学	保健学部 健康福祉学科 他
89	医療保険部 大横・東浅川・南大沢 保健福祉センター	介護予防ロボット製作のための見学	継続	医療・福祉・健康	大学等の研究事業に市が協力	高専の5か年プロジェクトである事業で、学生が介護予防の現場を見学することで、高齢者の運動能力の実態、体力維持のためのプログラム内容を知り、サービスメカトロ(ロボット)の実用化推進と実践的エンジニアの育成に役立てる。	1年	介護予防の現場で役立つ技術・ソフトの研究開発の一助となることで、学生の高齢者についての理解を深め、現場職員にも外部の刺激を得ることができる。	なし	東京工業高等専門学校	「社会実装インターン」プロジェクト
90	医療保険部 南大沢保健福祉センター	和楽器演奏会	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	学生サークルによる和楽器のコンサート	9/16、3/16	学生達に発表の場を提供でき、異世代間の交流が図れている。	なし	首都大学東京	三曲会 落語研究会
91	医療保険部 東浅川・大横・南大沢 保健福祉センター	老年看護学実習	継続	医療・福祉・健康	その他	成人・高齢者事業に参加し、高齢者等への理解を深める。 3日間の実習。	7/14～16、 7/21～23、 7/28～ 7/30	単位取得に必須な実習。 高齢者等が健康づくり、生きがいづくりに努力している姿と看護職の役割を学んだ。	なし	八王子市立看護専門学校	看護学科

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
92	医療保険部 東浅川・大横・南大沢 保健福祉センター 健康部 健康対策課、保健対策課	公衆衛生看護学実習	継続	医療・福祉・健康	その他	地域看護学実習の一環としての公衆衛生看護学実習。3保健福祉センターと保健所で実習を受け入れている。保健所と保健福祉センター2週間ごと計4週間の実習。	5/6及び、6/13～6/24、6/27～7/8	単位取得に必須な実習。行政の保健師活動の実際を学んだ。	なし	杏林大学	保健学部看護学科
93	医療保険部 大横・南大沢保健福祉センター 健康部 健康政策課	出張講座	終了	医療・福祉・健康	その他	平成26年度新入生ガイダンスにて、受動喫煙に関する講座を実施	4/3,5	新入生に対し、自身の健康管理について情報提供を行えた	なし	中央大学	
94	医療保険部 大横保健福祉センター (事務局移管)	八王子市保健福祉センター運営協議会	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	センターの運営に関する基本的事項について協議し、また平成23年度以降は母子保健を中心として、幅広い年齢層へのサービス提供のあり方についても議論を行っている。	2年	学識経験者としての専門的知識や豊富な経験を、母子保健・介護予防事業を中心としたセンター運営の推進に生かすことができる。	なし	東京純心大学	
95	医療保険部 東浅川・南大沢保健福祉センター	公衆衛生実習。	継続	医療・福祉・健康	その他	母子保健事業等の見学を通じて、地域での栄養士の実際の活動について学ぶ。	1年	学生の論文作成のフィールドとして協力している。市民の生活や行政栄養士への関心が深まった。	なし	実践女子大学	生活科学部食生活科学課公衆衛生学研究室
96	医療保険部 東浅川・大横・南大沢 保健福祉センター 健康部 健康対策課、保健対策課	公衆衛生看護学実習	継続	医療・福祉・健康	その他	地域看護学実習の一環としての公衆衛生看護学実習。3保健福祉センターと保健所で実習を受け入れている。保健所と保健福祉センター2週間ごと計4週間の実習。	5/6及び、6/13～6/24、6/27～7/8	単位取得に必須な実習。行政の保健師活動の実際を学んだ。	特になし	杏林大学	保健学部看護学科
97	医療保険部 大横・南大沢保健福祉センター 健康部 健康政策課	出張講座	終了	医療・福祉・健康	その他	平成26年度新入生ガイダンスにて、受動喫煙に関する講座を実施	4/3,5	新入生に対し、自身の健康管理について情報提供を行えた	特になし	中央大学	
98	健康部 健康政策課	はちおうじ健康づくり推進協議会団体参加	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	はちおうじ健康づくり推進協議会に団体として参加し、市民への健康づくり啓発活動への協力をおこなう。	平成15年11月～	協議会でおこなう啓発活動を通して、市内各大学に在学する学生の健康づくりに役立て、市民として自分の健康は自分で守る意識向上へつなげる。	特になし	八王子学生委員会	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
99	健康部 健康政策課	第2期 保健 医療計画協 議会	継続	医療・福 祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	第2期保健医療計画の進行管理を学 識者委員として参加し、専門的な見地 から意見をいただく。	2年	学識経験者としての専門的知識、 豊富な経験・実績、指導力などに よ、事業目的が達成される。	特になし	東京家政大学	
100	健康部 健康政策課	健康フェスタ	継続	医療・福 祉・健康	市が大学等に ボランティアを 依頼	5月17日に開催した健康フェスタにお いて、会場内の警備及び駐車場警 備、イベント従事を依頼。	5/17	イベントに学生が従事することで、 若い世代への声掛けや啓発活動 がスムーズにできた	特になし	東京工科大学	
101	健康部 保健対策課 (保健所)	エイズ普及啓 発 ピアエ デュケーシ ョン養成および 普及啓発活 動	継続	医療・福 祉・健康	その他	同世代の仲間同士(ピア)がエイズに ついて(偏見のない社会づくり、感染 拡大防止)考える「ピアエデュケーシ ョン」を行う学生を養成し、同年代の若 者に対して、普及啓発活動を行う	通年	保健所とピアが共同で啓発を行う ことで、知識の普及だけでなく、若 い世代と一緒に学び考える場をつ くることができた。	ピアの活動を実施す る上で、時間調整や 人員の確保が必要	杏林大学	北島研究会
102	子ども家庭部 児童青少年課	中高生企画 事業 「児童館・こど もシティ」	継続	まちづくり	市の事業に大 学等が協力	子どもたちが主役の町をつくり、そこで 営まれる社会活動を体験し、こどもの 社会性・協調性の向上や自ら考えて 行動する自主性を育てる体験事業。 その特徴は子どもたちが、運営・準備・ 企画をおこなう点にあります。	10月から 3月	美術、福祉など大学の特性を生か した体験事業を実施し、子どもに とって貴重な体験の場になっている。 大学生と子どもの交流の機会に なっている。	特になし	明星大学 東京工科大学 日本工学院八王子専門学校 創価大学 帝京大学 中央大学 十文字学園女子大学 帝京科学大学 首都大学東京	明星大学ボラン ティアサークル「メ ルシー」 創価大学児童文 化研究会 帝京大学児童文 化研究会ステップ 中央大学社会福 祉サークル青い 鳥 中央大学じゃりん 子の会 明星大学どろんこ の会 帝京大学どんぐり の会 首都大学東京児 童文化研究会

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
103	子ども家庭部 児童青少年課	児童館まつり	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	こどもたちが主役の町をつくり、そこで営まれる社会活動を体験し、こどもの社会性・協調性の向上や自ら考えて行動する自主性を育てる体験事業。	9月～10月	大学サークル活動の場、また大学生と子どもの交流のみでなく青少対・小中学校PTAをはじめ地域交流が図られた。	特になし	明星大学 東京工科大学 日本工学院八王子専門学校 創価大学 帝京大学 中央大学 十文字学園女子大学 帝京科学大学 工学院大学 首都大学東京	明星大学ボランティアサークル「メルシー」 創価大学児童文化研究会 帝京大学児童文化研究会ステップ 中央大学社会福祉サークル青い鳥 中央大学じゃりん子の会 明星大学どろんこの会 帝京大学どんぐりの会 首都大学東京児童文化研究会
104	子ども家庭部 児童青少年課	児童館施設実習の受け入れ	継続	医療・福祉・健康	大学等の研究事業に市が協力	大学の保育実習の機会として市へ依頼し、実習の場を児童館が提供。	10～12月	受け入れをきっかけに児童館まつりの大学生の協力が推進できた。	なし	東京家政学院大学 帝京平成大学・帝京科学大学 東京福祉大学 東京YMCA社会体育・保育専門学校 町田福祉保育専門学校・島根県立短期大学	
105	子ども家庭部 児童青少年課	児童館アドベンチャーラリー	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	児童館内・館庭にチェックポイントを設け、各ポイントで大学生の用意したゲーム等にチャレンジしながら、全ポイントのクリアを目指す。	5月	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	なし	法政大学	ボランティアサークル「ニコスマ」
106	子ども家庭部 児童青少年課	大学生会議	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	各大学サークルに児童館の年間活動計画を説明し、児童館で行ってみたい活動について調整する。	4月9月	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	なし	帝京大学 明星大学 中央大学 首都大学東京	帝京大学どんぐりの会 明星大学どろんこの会 中央大学じゃりんこの会 首都大学東京児童文化研究会
107	子ども家庭部 児童青少年課	スポーツ活動	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	市民センター体育館等を使用し、子どもたちがスポーツができる環境を提供する。	1年	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	なし	帝京大学 創価大学	
108	子ども家庭部 児童青少年課	人形劇	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	大学生が創作した人形劇を子どもたちに披露する。	1年	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	なし	首都大学東京	首都大学東京児童文化研究会

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
109	子ども家庭部 児童青少年課	あそび活動	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	子どもたちに様々な集団遊びを提供する。	1年	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	なし	帝京大学 工学院大学 十文字学園女子大学 明星大学 中央大学 首都大学東京	帝京大学児童文化研究会ステップ 帝京大学どんぐりの会 明星大学どろんこの会 中央大学じゃりんこの会 首都大学東京児童文化研究会
110	子ども家庭部 児童青少年課 (館ヶ丘児童館)	中高生講座 「ゆかたで行こう！八王子まつり」	継続	その他	市の事業に大学等が協力	中高生むけのゆかた着付け講座。学生が講師として参加する。八王子まつり当日に体験することで、伝統文化とともに、地域行事に親しむ。	1日	学生が講師として参加することにより、中高生に対して進路や職業についての意識啓発を、より効果的に行うことができる。	なし	山野美容芸術短期大学	
111	子ども家庭部 児童青少年課	ボランティア講習会	終了	医療・福祉・健康	大学等の研究事業に市が協力	帝京大学教育学部からの講師依頼により、地域福祉活動におけるボランティア活動について講義を行う。	12月	大学生、大学教員に、児童館事業と児童館におけるボランティア活動について理解してもらった機会になった。	なし	帝京大学	教育学部・学生ボランティア委員会
112	子ども家庭部 児童青少年課	命の大切さを学ぶ授業	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	中学校2年生を対象に、地域の連携・協力のもと、赤ちゃんとのふれあい体験、妊婦体験、助産師の講義を行う。	11月	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、乳幼児・中学生・保護者との交流を図れた。	なし	帝京大学 十文字学園女子大学	
113	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	八王子市子ども家庭支援センター運営協議会	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市子ども家庭支援センター運営協議会に委員として参加していただいている。	2年	有識者としての意見と、会長として委員の皆さんの意見をまとめている。	特に無し	法政大学	現代福祉学部教授
114	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	看護学校授業	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	子ども育成計画・子ども家庭支援センターの目的と役割を理解し支援の必要性について学ぶ	年間(随時)	子ども家庭支援センターの役割を知ると共に母子保健の観点から地域における子育て支援を考える場とする	なし	市立市立八王子看護学校	
115	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	講師派遣	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	児童虐待防止啓発のために子ども家庭支援センターの役割を講義する。	1日	虐待事例を通して子ども家庭支援センターや各関係機関の連携を学んで実情を認識してもらい虐待防止に役立てる。	なし	帝京大学	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
116	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	オレンジリボン活動	終了	その他	市の事業に大学等が協力	児童虐待防止推進月間中に、学生がオレンジリボンを胸に付け、地域子ども家庭支援センター館親子ふれあい広場で、来館者にオレンジリボンの周知・虐待防止をPRした。	1日	1. 子育ては家庭の中だけでなく地域との関わりの中で行われることを、子育て家庭に周知することができる。 2. 将来家庭を築く学生にもオレンジリボンを周知し、児童虐待防止を啓発できる。	なし	実践女子大学	子育てサークル「子育て応援隊」
117	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	クリスマスイベント	終了	その他	市の事業に大学等が協力	クリスマスイベントとして市内の大学が子育てに関するイベント実施	1日	1. 将来子どもに関する仕事に就くことを目指している学生たちが、子育て家庭と触れ合うことができた。 2. 親子で楽しい時間を過ごすことで、育児の負担軽減につながる。	なし	東京純心大学	現代文化学部 こども文化学科
118	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	クリスマスイベント	終了	その他	市の事業に大学等が協力	クリスマスイベントとして市内の大学が子育てに関するイベント実施	1日	1. 将来子どもに関する仕事に就くことを目指している学生たちが、子育て家庭と触れ合うことができた。 2. 親子で楽しい時間を過ごすことで、育児の負担軽減につながる。	なし	実践女子大学	子育てサークル「子育て応援隊」
119	産業振興部 産業政策課	大学と企業の交流会	継続	産業振興	その他	大学キャリアセンター職員と市内企業が交流することで顔の見える就活スタイルを実現していく。	年2回	交流会をきっかけに市内企業と大学とのつながりが生まれた。	なし	拓殖大学、帝京大学、杏林大学、実践女子大学、東京工科大学、明星大学、多摩大学など	キャリアセンター
120	産業振興部 産業政策課	中小企業魅力発見バスツアー	終了	産業振興	市の事業に大学等が協力	工場見学や社長・社員との交流から市内中小企業の魅力を発見し、理解を深めるためのバスツアーを実施	2月～3月	1、学生の募集 2、大学側の中小企業に対する認識を深める	なし	大学コンソーシアム八王子加盟大学等	
121	産業振興部 産業政策課	webサイトはちおうじ就職ナビ	継続	産業振興	市の事業に大学等が協力	はちおうじ就職ナビを、大学の企業説明会や面接会などで周知	10～3月	八王子市内の企業を学生に知ってもらえる機会を持つことができた。	なし	大学コンソーシアム八王子を通じて全大学	キャリアセンターなど
122	産業振興部 産業政策課	中小企業次世代人材確保支援条例に関する意見聴取	終了	産業振興	その他	27年度新規事業について、関係機関である大学キャリアセンターに意見聴取を行った。	平成26年11月	学生側の視点での市の新規事業に対する意見が得られる。	なし	大学コンソーシアム八王子加盟大学等	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
123	産業振興部 産業政策課	学生と企業社員の交流支援プログラム	終了	産業振興	市の事業に大学等が協力	学生に市内企業を知ってもらうために、企業社員とのグループワークや企業訪問を行った。	平成26年8～9月、11月の2クール	学生は企業を知ることができ、企業は学生の考え方などを知ることができ、就職・雇用の参考となる。	なし	帝京大学 中央大学・実践女子大学	井上ゼミ 松下ゼミ
124	産業振興部 企業支援課	「地域産業論」(産学公連携講義)	終了	教育	検討会委員、講師派遣等に協力	当該大学(高専)の授業に市職員を派遣し、八王子の産業について講義する。	9月	学生の地元八王子の産業への理解を深め、将来の市内企業への就職意欲を高める。	なし	東京工業高等専門学校	
125	産業振興部 企業支援課	先端技術セミナー	継続	産業振興	市の事業に大学等が協力	市内の中小企業を対象とした技術セミナーの講師	5月21日	中小企業に先端技術情報を紹介し、活用するためのきっかけとする。	なし	東京工業高等専門学校 拓殖大学	
126	産業振興部 農林課	道の駅八王子滝山運営会議	終了	産業振興	検討会委員、講師派遣等に協力	道の駅八王子滝山の市民サービス向上と効率的な運営について協議、検討する運営会議の委員を依頼。	任期2年 25年10月～27年9月 年2回	学識経験者としての専門的知識、豊富な経験・実績などにより、有益な意見が得られる。	なし	杏林大学	
127	環境部 環境政策課	八王子環境フェスティバル	継続	環境	その他	八王子の環境について考え、環境保全等を啓発する場として、年1回環境フェスティバルを開催している。その企画・広報等一切を、産・官・学・民から構成される実行委員会が担っており、協働事業として実施している。	6月	実行委員会のメンバーに、大学生の立場として企画の段階から参画してもらうことにより、斬新で、新鮮な発想を取り入れることができる。また、大学相互の連携により、参加大学の広がり期待できる。	学業が優先できるよう開催日時などに配慮し、又、学生の力が出し切れるような環境づくりが重要である。	中央大学 工学院大学 サレジオ工業高等専門学校	
128	環境部 環境政策課	環境審議会	継続	環境	検討会委員、講師派遣等に協力	市長の諮問に応じ、環境に関する基本的事項について調査審議し、答申する。	任期2年	学識経験者として専門的見地から意見をいただくことにより、市の環境行政を適正に推進することができる。	なし	中央大学 明星大学 首都大学東京 東京工科大学	
129	環境部 環境政策課	インターンシップ生の受け入れ	継続	環境	その他	東京都公認の人材育成制度であるECO-TOPプログラムに認定を受けた大学から依頼を受け、環境行政に関心を持つ学生をインターンシップ生として環境政策課、環境保全課で受け入れる。	8月	学生に環境施策等を理解してもらう機会になるとともに、学生の意見を直接聞く機会となった。	なし	首都大学東京	都市環境学部 自然・文化ツーリズムコース
130	環境部 環境政策課	環境に関する授業の実施	継続	環境	大学等の研究事業に市が協力	学生が持続可能な社会を実現するためのデザインについて学ぶにあたり、社会の最新の動向を身に付けるため、自治体における環境活動をテーマに授業を実施	4月～7月	身近な地域の環境の現状と行政の取り組みの実態について知り、また実例に基づく課題の解決について考えることにより、社会において環境のために行動できる人材の育成に役立てる。	一定期間授業を行うため、講師となる職員にある程度の負担が発生する	東京造形大学	デザイン学科サステナブルプロジェクト専攻領域(山際教授)

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
131	環境部 環境政策課	八王子市温暖化防止センター運営委員会	継続	環境	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市温暖化防止センターを運営するにあたり、大学及び学生の立場から運営体制、事業等について協議する。	1年	市内の様々な主体が連携、協力して温暖化対策を推進する組織の運営にあたり、大学及び学生の立場からの意見・提案を反映することができる。	なし	杏林大学 創価大学 日本文化大学 東京工業高等専門学校	
132	環境部 環境政策課	地球温暖化対策普及啓発イベント	継続	環境	市が大学等にボランティアを依頼	12月の地球温暖化防止月間に、地球温暖化防止について広く市民に関心を持ってもらうことを目的に、環境講演等の開催といった地球温暖化対策啓発イベントを実施する。	1日	市の環境行政に関心を持ってもらえるとともに、仕事を通じて学生の学業以外における人材育成の場を提供することができる。	なし	帝京大学 東京工科大学	
133	環境部 環境政策課	八王子環境フェスティバル	継続	環境	市が大学等にボランティアを依頼	八王子の環境について考え、環境保全等を啓発する場として、年1回環境フェスティバルを開催している。その企画・広報等一切を、産・官・学・民から構成される実行委員会が担っており、協働事業として実施している。	6月	自分たちの出展以外にボランティアに参加してもらうことにより、全体のつながりや連帯感を持って一つのイベントを作り上げていく意識が生まれる。	なし	帝京大学(学生) 東京造形大学(学生) 日本工学院専門学校	
134	環境部 環境政策課	工学院大学わくわくサイエンス祭理科教室	継続	環境	大学等の研究事業に市が協力	「つくる ふれる 楽しむ」をテーマに、小中高生に科学の楽しさを知ってもらう目的で開催されている理科教室において、人力発電電車を展示することにより、環境にやさしいエネルギーという切り口から環境教育を実施する。	8月	環境教育を実施し、未来を担う子どもたちに環境問題について考える機会を提供することができる。	なし	工学院大学	
135	環境部 環境政策課	インターンシップ生の受け入れ	継続	環境	その他	市・大学との間で覚書を取り交わし、行政に関心を持つ学生をインターンシップ生として環境政策課、環境保全課で受け入れる。	8月	学生に環境施策等を理解してもらう機会になるとともに、学生の意見を直接聞く機会となった。	なし	明星大学	
136	環境部 環境政策課	「ちえっくどう(中大・八王子方式)」による地域環境診断	継続	環境	大学等の研究事業に市が協力	環境診断士の指導のもと、各地区の環境市民会議が市民を対象に環境指標「ちえっくどう」を用い環境診断を行い、その結果を中央大学の研究生が集約し、分析結果を市の環境政策に利用できるような成果物として環境政策課及び環境診断士に提供する。	3年	環境指標「ちえっくどう」による診断を行うことで地域の環境の現状を再確認するとともに、他市における診断結果との比較分析を行うことができる	なし	中央大学	経済学部田中研究室
137	環境部 環境政策課	インターンシップ生の受け入れ	終了	環境	その他	大学から依頼を受け、経済学部授業科目「インターンシップ」を履修している学生を、インターンシップ生として環境政策課、環境保全課で受け入れる。	8月	学生に環境施策等を理解してもらう機会になるとともに、学生の意見を直接聞く機会となった。	なし	中央大学	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
138	環境部 環境保全課	斜面緑地保全委員会委員	継続	環境	検討会委員、講師派遣等に協力	「市街地内丘陵地のみどりの保全に関する条例」に基づき(1)保全区域の指定に関する(2)保全基準に関する(3)行為の届出の勧告に関すること等重要事項について審議する。	2年	1. 専門的分野からの助言が得られる。 2. 現地調査等で、学生との協働が可能になる。 3. 研究の成果を活用することも可能になる。	特に無し	創価大学 日本大学 中央大学	
139	資源循環部 ごみ減量対策課	ごみゼロ社会推進協議会委員の依頼	継続	環境	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子学生委員会に「ごみゼロ社会推進協議会」の委員を依頼	任期2年	一般廃棄物の減量及び再利用の促進、またその適正な処理等の市の施策に関し、協議会委員である学生から意見を聴取することを目的とする。	なし	八王子学生委員会	
140	資源循環部 北野清掃工場	あったかホールまつり	継続	環境	市が大学等にボランティアを依頼	北野余熱利用センターで年1回(11月)地域住民の親睦の場と、ごみ減量、環境啓発を目的とした「あったかホールまつり」を開催している。学生にボランティアを依頼し、環境啓発ブース及びごみ分別ブースでスタッフとして活動してもらった。	11月	学生に環境学習・教育の施策を理解してもらう機会を提供し、市民(学生)と行政協働での環境啓発を行い、学生としての意見を聴取し今後に反映することが出来た。	なし	東京工科大学	
141	水循環部 水環境整備課 下水道課 環境部 環境保全課	流域レジリエンス(気候変動に適應する地域管理)	終了	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	気候変動に伴う季節、気象予測を数値モデルを用いて計算する。市街地の中心部を流下する浅川をモデルとして、流域のレジリエンス向上について研究を行う。	2年	河川工学、人間・社会基盤、下水、気象、生物の研究者が協働することにより、水環境行政に必要な予測データ等が、多角的、総合的な見地から提供される。また、市の50年に及ぶ気象観測データを提供、分析し、温暖化など気候変動の傾向を掴むことが可能となる。	なし	東京大学	地球観測データ統融合連携研究機構・水環境制御研究センター・生産技術研究所・大気海洋研究所・農学生命科学研究科・空間情報研究センター
142	都市計画部 都市総務課	八王子医療刑務所用地活用検討専門家会議	終了	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	本市が八王子医療刑務所用地の活用に向けた検討を進めるにあたり、検討内容の妥当性や実現性等について、多様な専門性の観点からの助言を得る。	2年	専門領域からの中立的助言による知見の提供。	なし	東京大学大学院 多摩大学 明星大学 中央大学 日本女子大学	黒瀬武史助教 中庭光彦准教授 西浦定継教授 根本忠宣教授 葉袋奈美子准教授
143	都市計画部 都市総務課	八王子市都市計画審議会	継続	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	都市計画法に規定された審議会で、市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を調査・審議する。	-	専門領域から審議への知見の提供	なし	工学院大学 首都大学東京	村上正浩准教授 角田誠教授
144	都市計画部 土地利用計画課	八王子市都市計画マスタープラン検討委員会	終了	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	都市計画マスタープランの改定にあたり、市の検討内容への助言。	3年	専門領域からの中立的助言による知見の提供。	なし	首都大学東京 首都大学東京 首都大学東京 工学院大学 工学院大学	上野淳名誉教授 吉川徹教授 小根山裕之教授 村上正浩准教授 篠沢健太准教授

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
145	都市計画部 土地利用計画課	八王子市都市計画マスタープランブックデザインの検討	終了	まちづくり	市の事業に大学等が協力	改定する都市計画マスタープランのブックデザインの検討	1年	・学生の新しい感覚で、美術の専門的な視点での提案により、これまででないデザインの行政計画書が作成できる。 ・学生が提案したデザインのため、若い世代にも計画書を手にとってもらえる機会が増える。	なし	多摩美術大学	田口敦子教授 山本博子准教授 グラフィックデザイン学科の学生
146	都市計画部 土地利用計画課	八王子市中心市街地総合再生基本計画策定検討会	終了	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	中心市街地総合再生計画の策定に関する事項を検討し、意見・助言を行う。	1年	専門領域からの中立的助言による知見の提供。	なし	法政大学 東京電機大学 横浜国立大学	高見公雄教授 遠藤 薫特任教授 中西 正彦准教授
147	都市計画部 都市計画課	都市復興マニュアルの活用	継続	防災	市の事業に大学等が協力	震災からの都市の復興を円滑に進めるため、専門家の立場から技術的サポートを受け、震災復興模擬訓練を行い、職員の能力向上を図る。	1年	1. 震災からの円滑な復興を進めるため、大学の専門知識を活用し、職員の能力向上を図ることができる。 2. 大学にとっては行政側の経験等に関する特技を収集でき、調査研究に役立てることができる。	なし	首都大学東京	市古太郎准教授
148	都市計画部 都市計画課	用途地域等指定方針・指定基準策定に係る懇談会	終了	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	用途地域等指定方針・指定基準策定にあたり、市の検討内容へ意見	1年5か月	専門領域からの知見の提供	なし	工学院大学 関東学院大学 千葉大学	野澤康教授 村上正浩准教授 出石稔教授 秋田典子准教授
149	都市計画部 都市計画課	高尾山口駅周辺地区都市計画方針策定に係る懇談会	終了	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	高尾山口駅周辺地区都市計画方針策定にあたり、市の検討内容へ意見	1年5ヶ月	専門領域からの知見の提供	なし	首都大学東京	川原晋准教授
150	都市計画部 交通企画課	(仮称)八王子市交通マスタープラン検討委員会	終了	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	交通マスタープランの改定にあたり、市の検討内容への助言を得る。	2年	専門領域からの中立的助言による知見の提供。	なし	中央大学	鹿島茂教授
151	都市計画部 交通企画課 総合経営部 広聴課	市民フォーラム	終了	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	多摩都市モノレール八王子ルートを整備促進に向けて、市民の機運を高めていくために市民フォーラム(基調講演及びパネルディスカッション)を行うもの。	当日のみ	学識経験者の専門的な視点から、多摩都市モノレール八王子ルートについて意見を述べていただくことで、整備促進に向けた市民の機運が高まる。	なし	明星大学 首都大学東京 大学院	西浦教授 松本助教

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
152	拠点整備部 中心市街地政策課	「八王子まちナビ」店舗調査	終了	まちづくり	市が大学等にボランティアを依頼	「八王子まちナビ」のモニターを兼ね、登録店舗に訪問し、店舗の特徴や魅力等の調査をしてもらった。また、登録店舗以外で気になる店舗をピックアップしてもらった。	11月	1. 学生が、中心市街地や「まちナビ」に関心を持つ機会となる。 2. 学生の視点を今後の「まちナビ」の発展に活かすことができる。	なし	東京工科大学	
153	拠点整備部 中心市街地政策課	大学からの講師派遣依頼	終了	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	大学からの依頼に基づき、中心市街地の現状と活性化のための官・民それぞれでの取り組みについて講義を行う。	1年	学生が八王子のまちに興味を持つきっかけになり、まちづくりに関わり始める学生も現れた。	なし	創価大学	経済学部 長谷部ゼミ
154	拠点整備部 中心市街地政策課	大学からの講師派遣依頼	継続	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	大学からの依頼に基づき、中心市街地の現状と活性化のための官・民それぞれでの取り組みについて講義を行う。	1年	学生が八王子のまちに興味を持つきっかけになり、まちづくりに関わり始める学生も現れた。	なし	杏林大学	総合政策学部 久野ゼミ
155	拠点整備部 中心市街地政策課	大学からの講師派遣依頼	終了	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	大学からの依頼に基づき、公務員としての仕事についてや、中心市街地の現状と活性化のための官・民それぞれでの取り組みについて講義を行う。	1年	八王子市外の大学(大学生)に、一地方行政職の八王子の魅力ややりがいを伝えることができた。また、学生目線の活性化策は大変参考になった。	なし	立教大学	経済学部 企画講座G
156	拠点整備部 中心市街地政策課	大学からの協力依頼	継続	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	大学からの依頼に基づき、中心市街地の民間企業と協働で行っている、優れた民間事業者へのインタビューにおいて、その事業者の紹介を行った。	1年	事業者へのインタビューを通じて、学生が普段訪れない商店街の個店を知るきっかけとなった。	なし	法政大学	現代福祉学部 図司ゼミ
157	拠点整備部 中心市街地政策課	大学からの講師派遣依頼	終了	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	大学からの依頼に基づき、2050年の八王子駅前の姿をテーマにしたランドスケープデザイン演習の基礎知識としての中心市街地の現状と各種取り組みについて講義を行う。	1年	当演習を行うに当たって必要な情報を提供することで、研究の発展に寄与した。	なし	東京大学	工学系研究科 都市工学専攻 三島ゼミ
158	拠点整備部 中心市街地政策課	中心市街地イベントへの協力	継続	まちづくり	市が大学等にボランティアを依頼	まちづくり会社によって中心市街地で開催された食べ飲み歩きイベント「バルベリー八王子」の実行委員会メンバーとしてイベントへの協力を依頼。	1年	学生が、普段関わることのないまちに直接関わることで、中心市街地の人や店を知ることができ、八王子に対する愛着が深まる効果があった。	なし	杏林大学	総合政策学部 久野ゼミ

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
159	拠点整備部 中心市街地政策課	八王子古本まつり	継続	産業振興	その他	八王子駅ユーロードで行う古本まつりのブースの手伝いを行う	年2回	学生には社会経験となった。企業側にとっては若年層の嗜好などの判断材料となった。	なし	東京工科大学	学務課
160	まちなみ整備部 住宅政策課	八王子市営住宅 管理審議会	継続	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	市営住宅の適正な管理運営を図るため、市長の諮問に応じ、市営住宅の管理計画及び管理に関する重要事項について審議する。	任期 2年	専門的な意見をいただくことが可能である。	なし	首都大学東京(～H29.8.14)	都市教養学部 都市政策コース 朝 日准教授
161	まちなみ整備部 住宅政策課	八王子市営住宅及び共同 施設指定管 理者候補者 選定のための 評価会議	終了	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	八王子市営住宅及び共同施設指定 管理者候補者選定のための評価会 議により意見を聴取し、応募書類の審 査及びプレゼンテーションの上選考を 行う。	1年	専門的な意見をいただくことが可能である。	なし	首都大学東京	都市教養学部 都 市政策コース 社 会学研究科 経営 学専攻
162	まちなみ整備部 住宅政策課	団地再生	終了	まちづくり	大学等の研究 事業に市が協 力	URの団地グリーンヒル寺田を活性化 する学生のプロジェクトに参加し、住 宅政策の立場から学生を支援(助言) した。	1年	ワークショップで企画されたイベン トが学生によって実施された。団地 の住民と学生の交流の場が作ら れ、団地再生のきっかけとなった。	なし	法政大学	保井ゼミ 多摩地域交流セ ンター
163	まちなみ整備部 住宅政策課	インターンシ ップ生の受け入 れ	終了	教育	その他	大学生をインターンシップ生として受 け入れいる。	10日	・まちづくりに関心のある学生を受 け入れ、住宅政策をはじめとする まちづくり全般に対する理解を深め てもらった。 ・学生の意見・提案に直接触れる 機会となった。 ・職場の活性化と職員の指導育成 能力が向上した。	なし	法政大学	
164	まちなみ整備部 まちなみ景観課	八王子市まち づくり審議会	継続	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	地区まちづくり推進条例に規定された 審議会で、市長の諮問に応じ、同条 例に定めるまちづくりに関する事項 を調査・審議する。	2年	専門領域から審議への知見の提 供	必要な専門分野から 適切な専門家を選任 するための情報収集 が難しい	工学院大学	建築学部 野澤教授
165	まちなみ整備部 まちなみ景観課	八王子市景 観審議会	継続	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	本市景観条例に規定された審議会 で、市長の諮問に応じ、同条例に定め る良好な景観形成の推進に関する事 項を調査・審議する。	2年	1. 専門家に意見を求めることで、 議論の内容が深まる。 2. 専門家が会議のとりまとめを行 うことで、円滑な審議会の運営が 行われる。	なし	首都大学東京(都市環境学部)	川原准教授

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
166	道路交通部 交通事業課	小学生交通安全絵画コンクール	継続	教育	市の事業に大学等が協力	小学生の交通安全の啓発を目的として、小学校3年生を対象とした絵画コンクール。優秀作品は秋の交通安全運動のポスターになる。	12月～9月	専門家による選定により、公平でより良い交通安全ポスターができる。	なし。	多摩美術大学	
167	道路交通部 交通事業課	自転車駐車場管理運営	継続	環境	市の事業に大学等が協力	多摩都市モノレール中央大学・明星大学駅に313.69㎡の土地の無償提供を受け(平成12年10月から)、自転車駐車場として一般に開放。	4月～3月	平成24年10月の調査では、266台の利用がある。	なし。	中央大学	
168	道路交通部 交通事業課	自転車駐車場管理運営	継続	環境	市の事業に大学等が協力	多摩都市モノレール中央大学・明星大学駅に257㎡の土地及び自転車駐車場施設の無償提供を受け(平成16年7月から)、一般に開放。	4月～3月	平成24年10月の調査では、109台の利用がある。	なし。	明星大学	
169	道路交通部 交通事業課	自転車駐車場管理運営	終了	環境	市の事業に大学等が協力	大学の新生向けガイダンス時に、市が用意した自転車駐車場の適正利用についてのリーフレットを配布依頼し、配布した。	新生入学ガイダンス時	1.新生向けガイダンスで配布したことにより、新生に対する啓発に繋がった。 2.各大学との連携を深めることができた。	なし	中央大学 明星大学	
170	議会事務局 庶務調査課	議会報告会開催ポスター	継続	その他	市の事業に大学等が協力	議会報告会開催のポスターとチラシを大学へ送付し、掲示を依頼。	年1回	学生に議会への関心を高めてもらい、積極的に参加を呼びかける。	なし	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
171	議会事務局 庶務調査課	市議会だより表紙写真募集ポスター	継続	その他	市の事業に大学等が協力	市議会だより表紙写真募集のポスターとチラシを大学へ送付し、掲示を依頼。	年4回	学生に議会への関心を高めてもらい、積極的に参加を呼びかける。	なし	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
172	議会事務局 議事課	議会定例会開催ポスター	継続	その他	市の事業に大学等が協力	定例会開催のポスターとピラを大学へ送付し、掲示を依頼。	年4回	学生に議会への関心を高めてもらい、積極的に参加を呼びかける。	なし	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
173	学校教育部 学校教育政策課	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価	継続	教育	検討会委員、講師派遣等に協力	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うにあたって、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図る。	年2回	専門分野における高度な知識に基づいた意見を点検及び評価に活かすことができる。	なし	帝京大学	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
174	学校教育部指導課	中学校水泳大会	継続	教育	市の事業に大学等が協力	中学校体育連盟が主催する市内中学生の水泳大会	平成27年度は休止	市内に大会が行える施設(50Mプール)がなく、大学に依頼した場合は無料で借りることができる。	なし		27年度は休止したが、28年度以降の実施は未定
175	学校教育部指導課	指導力パワーアップ研修	継続	教育	市の事業に大学等が協力	教員の資質の向上を図るための市独自の教員研修として、指導課・施策推進委員会・資料作成委員会・学校・小中教研等が講座を企画・運営し、それぞれの課題に応じた研修を開設し講座を実施した。	平成27年度は7月23日～8月25日	大学から講師を招聘し、専門的で高度な研修を受けることができる。また、小・中教員の大学等に対する理解を深めることができる。	なし	明星大学、玉川大学、創価大学、国士舘大学、東京学芸大学、東京女子体育大学、早稲田大学、創価大学教職大学院、埼玉大学、工学院大学、白梅学園大学、帝京大学、常葉大学、実践女子大学、都留文科大学、神田外語大学、筑波大学、四天王寺大学、大正大学、日本体育大学、東京家政学院大学、首都大学東京、東京純心女子大学、大妻女子大学、文教大学	
176	学校教育部指導課	学校インターンシップ	継続	教育	市の事業に大学等が協力	市内及び近隣の大学と教育委員会とで協定を結び、市立小・中学校に週1日程度、学生を実習生として派遣している。派遣期間は、前期・後期・年間に分かれている。なお、臨床心理士を目指す大学院生も、この事業に組み込まれ、市立小・中学校に派遣されている。平成27年度は、約281名の学生・院生を受け入れている。	通年	教職を目指す学生に実習の場を提供するとともに、学校の授業や行事の補助的な指導に携わることによって児童・生徒の個に応じた指導が充実した。また、学校側では若い外部人材が入ることにより教職員もよい刺激を受けている。	学生の希望等により、各学校の受入れ数に差が生じる。交通費は学生の自己負担となっている。	創価大学、帝京大学、明星大学、東京純心大学、法政大学、中央大学、東京学芸大学	
177	学校教育部指導課	学術・文化・産業ネットワーク多摩	継続	教育	その他	ネットワーク多摩に登録している大学から市立小・中学校に学生を派遣し、教育活動を通じて社会体験を深めてもらうボランティア活動。	平成27年度は休止	学校教育に興味をもつ学生の就業体験の場として活用されるとともに、学校側では若い人材を得て教育活動を充実させることができる。	学生への謝金の上限が5000円であるため、場合によっては学生自身の交通費等の負担が大きい。		平成27年度から休止。再開は未定
178	学校教育部指導課	小学校科学教育センター	継続	教育	市の事業に大学等が協力	土曜日及び夏季休業中に、希望する小学校6年生を対象として、科学の実験や観察、見学、ホームページ製作、自由研究などを行っている。 平成26年1月に、「八王子市教育委員会と東京工業高等専門学校との間における教育・研究に関する連携協定」を締結している。	7月9日	児童に科学に対する興味・関心を高めることができる。大学等に対する理解を深めることができる。	居住地により、児童にとっては大学等までの行き来に時間がかかり、安全面の心配がある。	帝京大学 東京工業高等専門学校	
179	学校教育部指導課	教員研修実務研究	継続	教育	大学等の研究事業に市が協力	教職大学院生に、教員養成研修事業の概要の理解を目的とした授業(4月)、本市教育センターにおける運営等の実務体験(6月)、をとおして研修の企画・立案・運営等を学ばせる。また、指導主事が大学に出向き、指導主事の役割等について、院生に対して講義を行い(12月)、「教職課題研究論文発表会」のコメンテーターとして、指導・助言を行っている。	5月6月12月2月	管理職や指導主事等、教員の指導的役割を担う職を目指す教職大学院生に教員研修の実務を学ばせたり、学びの総仕上げとして、研究論文発表会での企画力・プレゼンテーション力をととして、資質の向上を図っている。	なし	創価大学教職大学院	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
180	学校教育部指導課	学校臨床実習	継続	教育	大学等の研究事業に市が協力	臨床心理士を目指す大学院生を小・中学校に派遣し、実習させている。大学院が単位認定し、平成23年度に引き続き、学校インターンシップ事業の一部として実施している。	9月からおよそ半年の間	小・中学校においては、教育相談の活性化を図ることができ、児童・生徒の相談役等として児童・生徒理解も進んでいる。	なし	創価大学大学院	
181	学校教育部指導課	教職実践演習	継続	教育	大学等の研究事業に市が協力	教育実習を終えた学生に、「教職実践演習」において、必要とされている事項と関連するテーマについて、市内の教諭、教育委員会指導主事および大学教員によるパネル・ディスカッションを行い、教員への自覚を促す。	9月10月11月	市内初任者教諭・主幹教諭・指導主事といった職層や経験年数の異なる立場からみた教育課題等や教員の実際について話をきくことで、教員養成の総仕上げにつなげている。	特になし	中央大学	
182	生涯学習スポーツ部生涯学習政策課	「生涯学習コーディネーター」入門講座	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	市民に生涯学習の情報を提供し、支援していく「生涯学習コーディネーター」を養成する全7回の講座を(社)学術・文化・産業ネットワーク多摩の協力で実施した。	H17.5~9 H18.6~9 H19.11~12 H20.9~11 H21.8~10 H22.6~7 H23.10~12 H24.5~7 H25.5~6 H26.5~6 H27.5~6	受講生を広域募集できる。	なし	(社)学術・文化・産業ネットワーク多摩 (※拓殖大学の教授に講師を依頼)	
183	生涯学習スポーツ部生涯学習政策課	生涯学習フェスティバル	継続	生涯学習	その他	市と八王子市学習支援委員、八王子生涯学習コーディネーター会の共催事業で、市民の生涯学習活動へのきっかけづくりと学習成果の発表、市民相互の交流の場として開催した。	H17.10 H18.10 H19.10 H20.10 H21.10 H22.10 H23.10 H24.10 H25.10 H26.10 H27.10	舞台発表、雑誌のリサイクル、記録写真の撮影、スポーツレクリエーション、総合案内等多岐にわたり主催者とともに活躍していただき、事業を円滑に進めることができる。	なし	中央大学 創価大学 東京薬科大学 杏林大学 日本工学院八王子専門学校	
184	生涯学習スポーツ部生涯学習政策課	学習支援委員	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	青少年活動の応援、国際交流や伝統文化普及、家庭教育、サークル・団体活動のサポートなどで市民の方々の生涯学習を積極的に支援してもらう。	通年	専門的分野からの助言が得られる。	なし	東京工科大学	
185	生涯学習スポーツ部生涯学習政策課	生涯学習審議会	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	教育委員会からの諮問に応じ、生涯学習の振興に関する計画の立案、施策及び事業の評価等について調査・審議し答申を行う。	通年	専門分野からの意見・事例紹介が得られる。	なし	大妻女子大学 創価大学	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
186	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	八王子市民水泳大会	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	教育委員会の主催事業で、八王子市水泳連盟(主管)に事業委託をし、実施している。50m屋内プールでの水泳競技大会(種目は、自由形、平泳ぎ、背泳、バタフライ)。	平成17年～	大学担当課の全面協力によりスムーズな進行ができた。また、環境の整った施設での大会のため、毎年300名を超える参加があり、水泳を楽しむ人の目標の大会になっている。今年度は参加者数が過去最多の479名となった。	なし	法政大学	保健体育部 多摩体育課
187	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	継続	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	JR八王子駅北口をスタートし甲州街道をメインとしたコースで開催する駅伝大会。	平成24年～	イベントの現場のみで感じられる緊張感、一体感を共有することができる他、異なる団体が1つの目的により連携する体験ができた。	なし	東京工科大学 日本工学院八王子専門学校	
188	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	継続	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	JR八王子駅北口をスタートし甲州街道をメインとしたコースで開催する駅伝大会。	平成22年～	大会本部及び各中継所の救護所の運営を保健学部の学生に担当してもらい、安全な大会運営が行えた。	なし	杏林大学	保健学部 救急救命学科
189	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	継続	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	JR八王子駅北口をスタートし甲州街道をメインとしたコースで開催する駅伝大会。	平成13年～	選手・役員を輸送するため大学のバスを提供してもらい、大会運営を円滑に行うことができた。	なし	学校法人 片柳学園(東京工科大学 日本工学院八王子専門学校) 山野美容芸術短期大学 明星大学 創価大学	
190	生涯学習スポーツ部 スポーツ施設管理課 公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団	ジュニアランニング教室	継続	教育	その他	小中学生を対象に短距離走のトレーニング方法や400m実体験、トップアスリートによるデモンストレーションなどを行いその魅力を体験する	1月23日	アトランタご五輪代表の苅部監督や次期五輪代表候補の学生らの「本物」に魅せられて子どもたちの目が輝き陸上競技に対する関心が高まる	特になし	法政大学	陸上競技部
191	生涯学習スポーツ部 スポーツ施設管理課 公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団	はちおうじダッシュ!	継続	教育	その他	小学生50m競争を各学年・男女別で行う大会で、ランニングクリニックなどを入れて個々のレベルをアップし、全員への記録証配布や入賞者へのメダル・表彰などを行った	8月2日	審判・進行などの運営やランニングクリニックのコーチングなどを大学陸上部に依頼し約100人の学生が参加した。学生によるデモンストレーションに子どもたちの関心が高まり、学生は社会人基礎力向上の場となる。	特になし	帝京大学 中央大学 法政大学	陸上競技部
192	生涯学習スポーツ部 学習支援課(生涯学習センター川口分館)	家庭教育講座	継続	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	パイプオルガンに触れてみよう	H17.7.30 H17.8.2 H19.8.8 H20.8.8 H21.8.4 H22.8.6 H23.8.6 H24.8.4 H25.8.3 H26.8.2	普段触れる機会のない「パイプオルガン」を間近に見て、構造を知り演奏をしてみるという特別な体験を市民(小・中学生とその保護者)に提供できる。	なし	東京純心大学	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度)	連携する上での問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
193	生涯学習スポーツ部 こども科学館	親子化学実験教室	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	夏休みの講座のひとつとして、首都大学東京の学生の化学サークルのメンバーが講師となって、準備、実施等をおこない、親子で冷えるカイロ、風船スライムと入浴剤を作った。	平成27年8月24日	1. 講師役の学生たちは薬品等の扱いに慣れていないため、参加者は、安全に薬品を使い、身近な物を作る経験ができた。 2. 学生が講師役となって、普段関わりのない年齢層(親子)を教えることにより、学んでいることの再確認ができたと考えられる。	薬品の購入についてなど、事前打ち合わせ等を密におこなう必要がある。	首都大学東京	化学サークル(TMU-SFC)
194	生涯学習スポーツ部 こども科学館	科学実験ショー	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	実験教室への申込者に対して、人エイクラ作りの教室を開催。オリエンテーションホールで、来館者に対して、液体窒素を使った科学実験ショーを開催。	平成27年8月3・4日	1. 講師役の学生たちは他でも講座を行って慣れているため、参加者は、安全に薬品を使って講座に参加することができた。 2. 学生が講師役となって、普段関わりのない年齢層(親子)を教えることにより、学んでいることの再確認ができたと考えられる。	事前打ち合わせ等を密におこなう必要がある。	工学院大学	サイエンス・クリエイト・プロジェクト(SCP)
195	生涯学習スポーツ部 こども科学館	博物館実習生の受入	継続	その他	大学等の研究事業に市が協力	学芸員実習生を受入、9日間の実務をする	平成27年8月	なし	なし	日本大学 帝京科学大学	
196	生涯学習スポーツ部 こども科学館	八王子「宇宙の学校」	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	年4回開催する子ども科学教室と家庭学習を組み合わせ、より探究心の強い子ども達の育成を図る。	平成27年6月～11月	学生が講師の補助役として、普段関わりのない年齢層(親子)を指導する機会を提供できた。	なし	東京工科大学	
197	生涯学習スポーツ部 こども科学館	科学実験ショー	終了	生涯学習	市の事業に大学等が協力	オリエンテーションホールで、来館者に対して、科学実験ショーを開催。	2015/1/17	1. 本館のPRならびに、来館者を楽しませることが出来る。 2. 学生にプレゼンテーション等を行う機会を提供できる。	なし	東京大学	サイエンスコミュニケーションサークル CAST
198	図書館部 中央図書館	紹介状発行による市民の大学図書館利用	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	市図書館が紹介状を発行することで、市民が大学図書館で閲覧・複写等のサービスを受けることができる。	通年	八王子市民が直接利用ができない大学図書館を八王子市の図書館を通すことによって個人で利用ができる。	なし	市内各大学など	
199	選挙管理委員会事務局	選挙時における投・開票事務への学生アルバイトの導入	継続	その他	市の事業に大学等が協力	各投票所での受付業務	選挙時	若年層への選挙啓発及び選挙事務に従事する市職員数の減	採用決定後のキャンセル及び当日の欠席	工学院大学、明星大学、帝京大学、東京造形大学、東京工科大学、杏林大学、多摩美術大学、創価大学、東京薬科大学、拓殖大学、中央大学、共立女子大学、首都大学東京、東京純心大学、山野美容芸術短期大学、東京家政学院大学	

## 調査票A-②：既存連携事業&lt;継続中&gt;

平成28年3月現在

事業 No	所管部課名	事業名	継続 or 終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果 (100字程度で)	連携する上での 問題点	連携した大学名	
										大学名	研究室・ゼミ名
200	選挙管理委員会事務局	選挙時における啓発活動	継続	その他	市の事業に大学等が協力	学校構内の選挙公報備え置きの協力	選挙時	若年層への選挙啓発	なし	創価大学	